

# 第18回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月27日~8月9日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-38-8003/8005

FAX 0940-38-8029

## 日本全国の高校生が「アジア・ハイスクール・サミット」を開催

「ローカルからグローバルへ~世界と繋がって地球の未来にいいこと何ができる？」

アフターコロナの時代を描きます

オンラインでアジア 19 ヶ国・地域の高校生とも議論

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の十倉雅和会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象の2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004年に開塾、今年で18回目を迎えます。昨年は全国の高校が休校となり、夏休みが短くなったことや、PCR検査の実施ができない状況下だったため、8月の5日間と9月にかけての週末を使ったオンラインでの開催となりました。今年は、PCR検査を実施して、感染防止策を講じて、7月27日(火)から8月9日(月)まで、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で2週間実施します。

### 【日本在住の高校生139人が参加します】

書類選考と面接で選抜された全国22都道府県とフィリピン(日本在住でフィリピンの高校の授業をオンラインで受講)から集う日本の高校生139人が2週間寝食を共にします。

コロナ禍の中の開催とあって、すべての参加高校生は参加直前のPCR検査実施、各地から到着した27日にグローバルアリーナに到着直後に抗原検査を実施します。一方、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置を発令中の首都圏(東京都、神奈川県、千葉県)、沖縄県、大阪府に在住する高校生は事前に5日間、福岡市内のホテルの個室で待機した上で、PCR検査を実施して、感染防止をいたしました。また、学校でクラスターが発生した高校生など2人はオンラインで期間中参加します。

今年の参加高校生は、卒業すると3115人となります。日本や海外の大学や大学院に進学や留学した後に、社会人として、外交官、国家公務員、医師、教師、起業家、金融機関や商社、製造業などの企業、国際機関や自ら世界各地でNGOを立ち上げて、社会に貢献できる人財として活躍しています。

### 【一流講師の講義・グループディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。コロナ禍だけでなく、気候変動による天変地異など想定外の事象が起きています。7月29日(木)午前11時から久世暁彦・宇宙航空研究開発機構(JAXA)GOSAT-2プロジェクトマネージャーが「宇宙から地球温暖化を知り目に見える温室効果ガス削減策を考える」と題して、同日午後2時から山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授が「With コロナ~新たな社会の見取り図」と題して講義します。

また、92歳で首相に返り咲き、今は96歳にして、野党を束ねるマレーシアのマハティール・モハマド前首相が8月8日(日)午前11時からオンラインで「次世代のリーダーはコロナ後の世

界をどう形づくることができるか」を講義します。

8月5日（木）午前11時から佐々木久美子・(株)グルーヴノーツ代表取締役会長と、午後2時から元厚労省事務次官の村木厚子・津田塾大学客員教授の講義は宗像市のオンラインでの公開講座となります。

期間中には、塾長代理である榊原英資・元財務省財務官、元国連事務次長の明石康・国立京都国際会館理事長、滝久雄・株式会社ぐるなび会長ら22人の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。講師の1時間の講義の後には30分間全体で質疑応答を行います。

クラス別のディスカッション等では、協賛企業から派遣された社会人がクラス担任としてサポートします。塾期間中には、キャリア教育の時間に社会人としての経験を語っていただきます。また、卒業生を中心とした大学生のボランティアが、塾生のサポートをします。塾生は、共同生活を通して、自己管理能力を養います。

### 【アジア・ハイスクール・サミット】

リーダー塾では、2週間を通して、日本とアジアの高校生が本音で徹底的に議論して政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を毎年、開催しています。解決することが難しい社会課題に挑戦することで、やがて近い将来、リーダーとなったときにどう答えのない難題に取り組み解決できるのか、高校生のうちから経験するのが狙いです。



今年のテーマは「ローカルからグローバルへ～世界と繋がって、地球の未来にいいこと何ができる？」です。コロナ禍で、生活が一変しました。また、気候変動で豪雨や洪水などが日常茶飯事に世界中を襲っています。まさに地球は悲鳴をあげています。自分たちが住んでいる「ローカル」なところから課題をみつけて、国境を越えて共通に解決しないといけない課題とは何か。世界で起きている紛争、人権、格差、失業、産業の立て直し、気候変動、環境問題などボーダレスに解決しないといけない問題の中から自分たちでテーマを探します。それを世界にいる同世代の仲間たちと「地球市民」として、どう協力して解決をしていくのかを議論します。ワクチン接種が進み、治療薬ができたその先にあるアフターコロナの世界で、世界に飛び出した次世代が何にチャレンジできるのか、徹底的に議論した上で、奇想天外な具体策を出していきます。

そして、8月7日（土）午後2時からクラスごとの発表を行って、どのクラスが1番同世代の心に響いたのかを本物の投票箱と記載台を宗像市からお借りして投票で決めます。8月8日（日）午前11時から、マハティール前首相の前で代表が英語で発表をします。

### 【アジア学生交流】

リーダー塾では、毎年、アジア各国から高校生を無償で招待していますが、今年は国境が封鎖されているため、招くことができません。そこで、日本政府奨学金「アジア高校生架け橋プロジェクト」で今年来日予定のアジア19カ国・地域の250人の有志をオンラインで招待して議論します。彼らは、(公財) AFS 日本協会が探したホストファミリーや学校寮で来年3月まで滞在し、学校に通うことになっていましたが、変異ウイルスの感染拡大で8月の来日が秋に延期となってしまう、日本への留学を待っています。

それぞれの国や地域でコロナ禍の中、何に苦勞をしているのか。また、コロナ後に地球規模で解決しないといけない課題は何か。アジアの高校生と日本の高校生が協力して「地球にいいこと、何ができるのか」を話し合います。

### 【宗像大社見学】

7月30日（金）は2017年7月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮（総社）を見学し、日本古来の文化を守り伝えることの重要性、日本人として海や里、山の恵みに感謝し、環境を大切にすることを学びます。7月28日（水）、宗像大社宮司の葦津敬之氏が「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」と題して講義します。

## 【日本と朝鮮半島の交流史と幕末の国際関係を学ぶ佐賀フィールドトリップ】

### ～佐賀県立名護屋城博物館を見学（7月31日）～

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城跡に隣接する位置に1993年に開館しました。このため、双方で相いれない史実は、両論が併記されています。塾では、武谷和彦・同博物館学芸課長に「肥前名護屋城と名護屋城博物館」と題して講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。関連したテーマの講師として、映画プロデューサーの李鳳宇氏が「映画で日本の将来を考えよう」を、薩摩焼十五代沈壽官氏が、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。

(連絡先)

○ 塾期間中(7月27日～8月9日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話0940-38-8003/8005

FAX 0940-38-8029

○ 上記期間以外の事務局連絡先:03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

○ 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、090-1113-3914です。

### 【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師・講義タイトル
3. カリキュラム表
4. 塾生概要
5. 塾生学校一覧
6. 役員等名簿

## 第18回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

### 1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：十倉 雅和／一般社団法人日本経済団体連合会会長

### 2 開催日程

2021年7月27日(火)～8月9日(月)

### 3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は7月30日（金）～8月2日（月）の3泊4日で宿泊

### 4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 139名

内 訳	参画県推薦枠 ( 北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、沖縄県うるま市 )	110名
	全国からの一般公募枠	29名

### 5 カリキュラム概要

#### ① 各界を代表する講師陣による講義

- **教養系**（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）  
日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。
- **ビジネス系**（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）  
世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。
- **国際系**（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）  
世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。
- **人間学**（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）  
人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

#### ② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約20名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

#### ③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

#### ④ フィールドトリップ

- 佐賀県立名護屋城博物館にて当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本列島と朝鮮半島間の歴史を学びます。

## 第18回日本の次世代リーダー養成塾講師一覧とタイトル

1. 明石 康 / 元国連事務次長、(公財) 国立京都国際会館理事長  
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」  
“Japan in the world—towards a more open, dynamic country”
2. 葦津 敬之 / 宗像大社宮司  
「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」
3. 麻生 渡 / (一財) 九州オープンイノベーションセンター最高顧問  
元全国知事会会長  
「君に人生100才時代をどう生きるのか」
4. 笠谷 和比古 / 大阪学院大学法学部教授 (専門=歴史学・武家社会論)  
「幕末尊王攘夷論の虚実」
5. 鎌田 實 / 諏訪中央病院名誉院長  
「Beyond Corona 「新しい人間」になろう」
6. 久世 暁彦 / 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) GOSAT-2 プロジェクトマネージャー  
「宇宙から地球温暖化を知り目に見える温室効果ガス削減策を考える」
7. 小手川 強二 / フンドーキン醤油(株) 代表取締役社長  
「発酵食品が繋ぐ国際化」
8. 榊原 英資 / (一財) インド経済研究所理事長、元財務省財務官  
「日本—この不思議な国」
9. 佐々木 久美子 / (株) グルーヴノーツ代表取締役会長  
「高校生が知っておくべきテクノロジーのインパクト」
10. 田口 一成 / (株) ボーダレス・ジャパン代表取締役社長  
「社会問題をビジネスで解決する社会起業家という生き方」
11. 滝 久雄 / (株) ぐるなび取締役会長・創業者、(株) NKB取締役会長・創業者  
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
12. 武谷 和彦 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課長  
「肥前名護屋城と名護屋城博物館」
13. 沈 壽官 / 薩摩焼 15代  
「伝統を守り現代を表現する」

14. マハティール・モハマド / マレーシア前首相  
「次世代のリーダーはコロナ後の世界をどう形づくることができるか」  
“How can future leader shape the world after COVID-19”
15. 宮川 眞喜雄 / 内閣国家安全保障局国家安全保障参与  
「歴史を読み。科学を学べ。危機を予知し、皆を率いて対処せよ。」  
日本のために、アジアのために」
16. 村岡 浩司 / (株)一平ホールディングス代表取締役社長  
「世界があこがれる九州をつくる～九州を一つの島と捉えた、広域経済圏の考え方～」
17. 村木 厚子 / 津田塾大学客員教授、元厚生労働省事務次官  
「事件から学んだこと～組織の在り方・人の生き方～」
18. 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学名誉教授、同大学前学長  
「人々の心身の健康と幸せを目指す研究・開発と研究者の役割」
19. 山口 祥義 / 佐賀県知事  
「未来のリーダーたちに伝えたいこと」
20. 山本 太郎 / 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授  
「With コロナ～新たな社会の見取り図」
21. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、(株)マンシーズエンターテインメント代表、  
日本大学芸術学部映画学科講師  
「映画で日本の将来を考えよう」
22. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長、  
(公財) AFS 日本協会理事長  
「” Warm Heart Cool Head” で激動の時代を切り拓くリーダーに」

(敬称略・五十音順)



## 第18回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 139名 22都道府県+1か国(フィリピン)

### ○参画県推薦枠 110名

※うち、第17回参加者2名

	都道府県	人数
1	北海道	10名
2	青森県	10名
3	岩手県	7名
4	静岡県	10名
5	岐阜県	10名
6	和歌山県	10名
7	愛媛県	10名
8	福岡県	21名
9	宗像市	6名
10	佐賀県	14名
11	うるま市	2名
計		110名

### ○一般公募枠 29名

※うち、第17回参加者1名

	都道府県	人数
1	千葉県	1名
2	東京都	6名
3	神奈川県	2名
4	愛知県	2名
5	京都府	1名
6	兵庫県	2名
7	広島県	1名
8	岡山県	1名
9	徳島県	1名
10	福岡県	7名
11	大分県	1名
12	熊本県	1名
13	鹿児島県	2名
14	海外	1名
計		29名

# 第18回日本の次世代リーダー養成塾 塾生学校一覧

22都道府県+1ヶ国(フィリピン) 102校

学校所在地	学校名
北海道	私立遺愛女子高等学校
	私立札幌新陽高等学校
	私立札幌聖心女子学院高等学校
	私立北星学園女子高等学校
	北海道立登別明日中等教育学校
青森県	青森県立青森高等学校
	私立青森明の星高等学校
	青森県立八戸高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
	青森県立八戸東高等学校
	青森県立弘前南高等学校
岩手県	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立大船渡高等学校
	岩手県立釜石高等学校
	岩手県立千厩高等学校
	岩手県立高田高等学校
	岩手県立福岡高等学校
千葉県	私立渋谷教育学園幕張高等学校
東京都	私立東京都郁文館高等学校
	私立国際基督教大学高等学校
	私立富士見高等学校
	アオバジャパンインターナショナルスクール
	国立お茶の水女子大学附属高等学校
神奈川県	私立湘南白百合学園高等学校
	私立相模女子大学高等部
岐阜県	岐阜県立可児高等学校
	岐阜県立加茂高等学校
	私立岐阜東高等学校
	岐阜県立関高等学校
	岐阜県立多治見北高等学校
	岐阜県立中津高等学校
	岐阜県立長良高等学校
	私立聖マリア女学院高等学校
	岐阜県立武義高等学校
静岡県	静岡市立高等学校
	私立静岡学園高等学校
	私立静岡サレジオ高等学校
	静岡県立清水東高等学校
	私立常葉大学附属菊川高等学校
	私立星陵高等学校
	静岡県立浜松西高等学校
	私立不二聖心女子学院高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
愛知県	私立名古屋国際高等学校
	私立海陽中等教育学校
和歌山県	私立開智高等学校
	和歌山県立向陽高等学校
	私立和歌山信愛高等学校
兵庫県	私立三田学園高等学校
	私立神戸女学院高等学部
京都府	私立立命館高等学校

学校所在地	学校名
広島県	広島県立広島高等学校
岡山県	私立岡山学芸館高校清秀高等部
徳島県	徳島県立海部高等学校
愛媛県	愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
	愛媛県立西条高等学校
	愛媛県立松山西中等教育学校
	愛媛県立松山東高等学校
	愛媛県立松山南高等学校
	愛媛県立三崎高等学校
	愛媛県立南宇和高等学校
愛媛県立八幡浜高等学校	
福岡県	福岡県立朝倉高等学校
	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡県立育徳館高校
	福岡県立香椎高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	私立久留米信愛高等学校
	福岡県立玄洋高等学校
	福岡県立小倉高等学校
	福岡県立小倉工業高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立早良高等学校
	福岡県立山門高等学校
	福岡県立修猷館高校
	福岡県立城南高等学校
	私立東海大学付属福岡高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
	私立福岡舞鶴高等学校
福岡県立三池高等学校	
福岡県立宗像高等学校	
私立明治学園高等学校	
福岡県立明善高等学校	
福岡県立八女高等学校	
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立唐津西高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	私立佐賀清和高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	私立早稲田佐賀高等学校
大分県	大分県立日田高等学校
熊本県	私立九州学院高等学校
鹿児島県	鹿児島県立鹿児島南高等学校
	私立屋久島おおぞら高等学校
沖縄県	沖縄県立石川高等学校
	沖縄県立与勝高等学校
海外	International School Manila

## 主催者からのメッセージ

十倉 雅和 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）



コロナ禍の中、今、世界は行き過ぎた資本主義による格差の拡大、地球温暖化による生態系の破壊、保護主義やポピュリズムの台頭による地政学リスクの高まり、民主主義の危機など、多くの問題が顕在化しています。こうした経済や社会の状況を受け、持続可能な資本主義への期待が高まっています。私は、市場経済の中に社会性の視点を入れる「ソーシャル・ポイント・オブ・ビュー」が大切であると考えています。

自国だけで対応することのできない地球温暖化、パンデミックに代表される生態系の破壊、人類が制御できなくなる恐れのあるAIなどのデジタル技術に対して、今こそ、国際協調が急務です。コロナ後の時代、わが国は自由・民主主義・人権・法の支配といった価値観を共有できる国々との連携がこれまで以上に必要となります。

次世代のリーダーを目指す皆さんには、世界に目を向けて、地球環境問題など地球市民として解決しないとイケない課題に、切磋琢磨をして、高い志を持って、果敢にイノベティブに挑戦をしていただきたいと思います。まずは、塾で大いに学び、仲間と未来を語り、視野を広げ、たくましい若きリーダーとして、将来、世界を舞台に活躍されることを心から願っています。

### 「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

(五十音順)

塾長	十倉 雅和／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／一般財団法人インド経済研究所理事長
筆頭理事	服部 誠太郎／福岡県知事
理事	浅野 史郎／土屋総研特別研究員・元宮城県知事
理事	麻生 渡／元全国知事会会長
(顧問兼務)	一般財団法人九州オープンイノベーションセンター最高顧問
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社特別顧問
理事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	鈴木 直道／北海道知事
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社名誉顧問
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長 創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社特別顧問
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
(事務局長兼務)	
監事	内村 芳郎／九州電力株式会社上席執行役員